

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	6	課題区分	A	令和3年3月30日	
横断的な課題	-						
地域重点政策	1 北アルプスの恵みと人々の知恵を活かした産業の振興				北アルプス地域振興局		
実施機関	北アルプス地域振興局林務課			担当課	所属	林務課	
事業名	北アルプス広葉樹製品化モデル事業				電話	0261-23-9655	
				E-mail	kitachi-rimmu@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	「広葉樹林業のビジネス化」に向けて、管内広葉樹の利活用方法を検討し、広葉樹資源の地消地産による「高付加価値化」を目指す。					
	現状と課題	管内民有林の66%を占める主要な資源である広葉樹を活用した林業活動の活性化は、地域産業の健全な発展と森林整備の推進に寄与することが期待される。 一方、管内には広葉樹を活用したビジネスモデルが少なく、地域の多種多様な広葉樹の活用に向け、樹種特性に応じた人工乾燥技術の確立や製品化の手法を検討する必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> 管内にある多種多様な広葉樹を板材に製材し、人工乾燥工程の検討、割れ・反りを調査(県林業総合センター木材部との共同試験) (令和元年度の人工乾燥試験未実施 7樹種) 人工乾燥後のモデル板材の利用・販売可能性の検討(販売価格等推計) 人工乾燥試験結果の取りまとめ、製材品歩留り・販売推計価格に基づく収益性検討 					
	事業期間	令和2年12月1日		～	令和3年3月20日		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	北アルプス広葉樹製品化モデル事業	消耗品費(試験用広葉樹原木購入)、製材等費用	203,274	新型コロナウイルスの影響により民間木材乾燥施設の使用が困難となったため役務費、使用料を減			
	合計		203,274				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	地域産広葉樹5樹種の製材・乾燥試験の実施		5樹種	7樹種	◎ 達成		
	人工乾燥後の利活用の検討会開催		1回	1回	○ 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度はヤマザクラ、ヤマナラシ、ウダイカンバ、クリ、キハダ、ブナ、ホウノキ の計7樹種78枚を北アルプス管内で製材し、林業総合センターによる人工乾燥試験を実施。試験結果は現在取りまとめ中であるが、継続して天然乾燥と人工乾燥の比較試験を実施中。 令和元年度乾燥試験材の利活用検討を継続し、地元林業関係者・木工作家との打ち合わせを実施。関係者で協議した結果、県民に広く広葉樹活用をPRすることができる製品をモデル的に制作することとし、大町合庁1F県民ホールのテーブル天板を3月末に設置。 						
今後の方向性	試験結果を踏まえ、地域材を活用したモデル製品の開発・販売戦略を検討						